

# 教育 子午線

Kyoiku-Shigosen

October, 2014  
vol.36

◎教育最前線

## 薬物乱用防止 のために 教育は 何が できるか

◎研究レポート

思考力・判断力・表現力を育成するために  
言語活動を取り入れた効果的な指導方法の研究  
—論理的に「話す・聞く」「書く」指導をとおして—

◎ワタシのイチオシ

◎うれしの掲示板

# 薬物乱用防止のために 教育は何かができるか

薬物乱用は本人の心身にとどまらず、事件や事故、密売組織の台頭など社会にも深刻な悪影響をもたらします。薬物乱用防止のためには包括的な対策が必要であり、とりわけ教育は重要な役割を担っています。しかし、薬物乱用の有害性を強調したり脅したりするだけでは効果は期待できません。実態を踏まえ、効果的な防止教育について考えていきましょう。



にしおかのぶき  
**西岡伸紀**

学校心理・発達健康教育コース教授

## 薬物乱用の現状

いずれかの経験率は10（1998）年ごろをピークに減少傾向にあり、最新の24（2012）年では男子は1%程度、女子は0.6%程度です【①②】。経験

率の低下には防止教育や法令の整備、取り締まりなどの対策が貢献していると考えられます。しかし、楽観はできません。最新

の調査で初めて対象となった脱法ドラッグの経験率は、大麻や覚醒剤と同程度に達しており、大いに注意すべき

## 喫煙や飲酒との 関連性

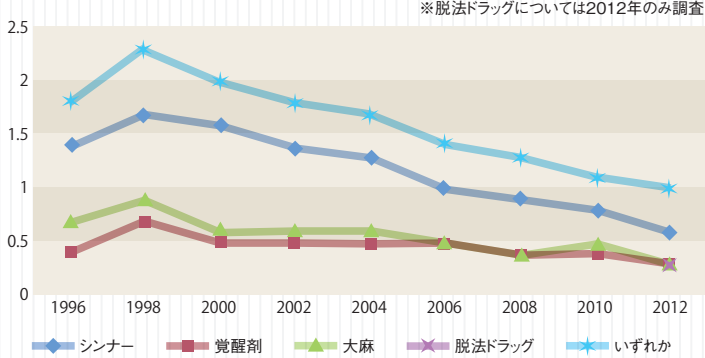
今まで問題のなかった青少年が突

## 青少年の 薬物乱用の実態

最近、脱法ドラッグによる事故や事件、有名人による薬物乱用、危険ドラッグへの呼称変更などで薬物が注目されています。薬物乱用は重大な問題ですが、青少年の薬物乱用の経験率は低下傾向にあります。平成8（1996）年以降、全国調査を基に中学生の薬物乱用行動を定期的に調べている（独）国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の和田清葉物依存研究部長によれば、大麻や覚醒剤シンナー、脱法ドラッグ等のい

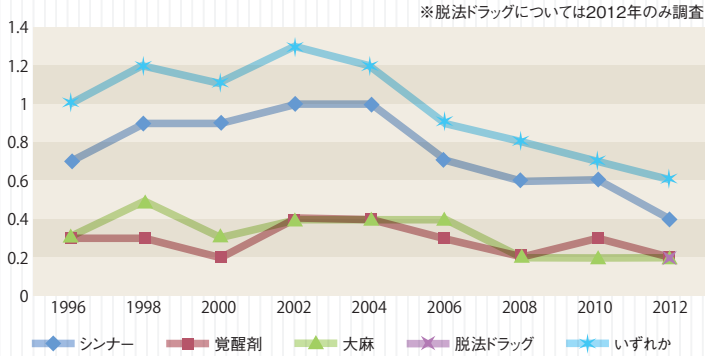
### ①中学生（男子）の薬物乱用経験率の推移

%、和田清他、2013



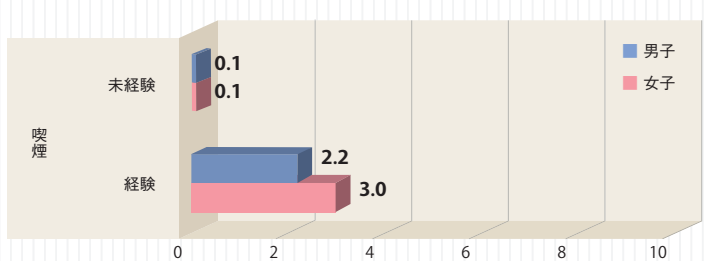
### ②中学生（女子）の薬物乱用経験率の推移

%、和田清他、2013



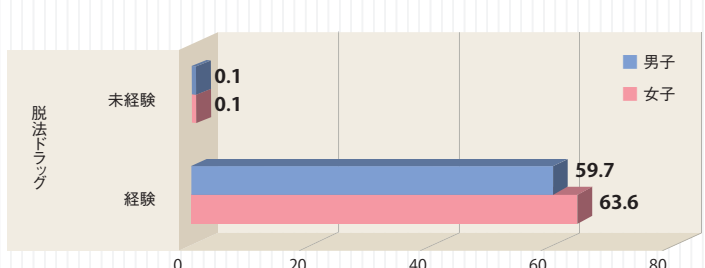
### ③中学生の喫煙経験と脱法ドラッグ経験の関連

%、和田清他、2013



### ④中学生の脱法ドラッグ経験と大麻経験の関連

%、和田清他、2013

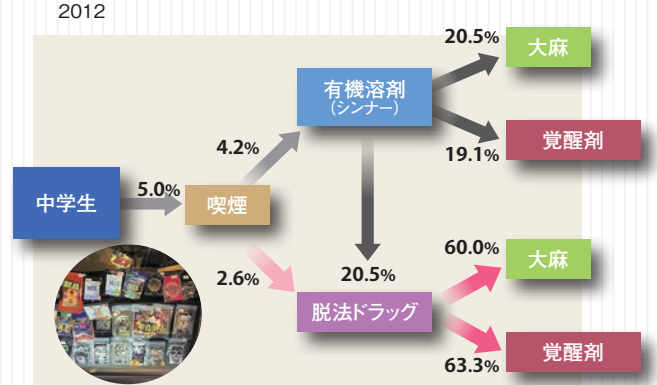


然、薬物を乱用するようなケースは少ない模様です。多くの場合、薬物を乱用する前に喫煙や問題性の高い飲酒が認められます。中学生の脱法ドラッグの経験率は、喫煙未経験者では0.1%に過ぎませんが、喫煙経験者では2%強と未経験者の20倍以上に上ります【③】。また、大人のいない場面の飲酒経験者は非経験者と比べて薬物乱用経験率が数倍になりました。さらに、脱法ドラッグについては、未経験者は大麻や覚醒剤の経験率が0.1%程度に過ぎませんが、経験者はそれらが60%程度を示しました【④】。喫煙や飲酒は薬物乱用の入り口であることが示唆されます。和田部長は調査結果を踏まえ、中学生が薬物乱用に至る主な過程を【⑤】のようにまとめています。これを見ると、乱用防止には何よりも喫煙、飲酒の防止が必要であることが分かります。

## 防止のための包括的対策

覚醒剤の再犯率が6割に上るなど、薬物の依存性は非常に厄介な問題です。薬物乱用防止は警察や教育だけに任せられるものではありません。乱用経験者の回復や社会復帰の支援、国際的な連携や協力など、包括的

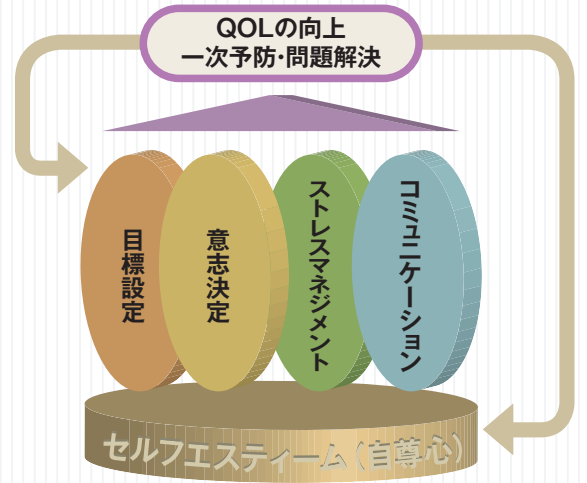
### ⑤ 有機溶剤乱用と脱法ドラッグ乱用経験が持つ意味



平成26年度文部科学省補助事業(公財)日本学校保健会「喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料」研修会(平成26年8月19日)資料(独)国立精神・神経医療研究センター 和田清作成  
脱法ドラッグの写真提供: 近畿厚生局麻薬取締部神戸分室

### ⑥ 5つのライフスキルの関係

JKYB研究会、2000より。一部改変



### ⑦ 薬物乱用防止啓発DVD (高校生用)

文部科学省



### ⑧ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料

(公財)日本学校保健会



継続的な対策が必要です。日本では10(1998)年に薬物乱用防止五年戦略を定めて以降、5年ごとに状況を踏まえながら内容を改訂し、それを基本方針として教育や警察、法令、業務、保健医療等の諸機関が連携して具体策を進めています。

### 防止教育に必要な内容とは

防止教育は五か年戦略の第一に取り上げられており、大きな期待が寄せられています。防止教育には「体育」や「保健体育」での保健学習のほか、学校薬剤師や学校医、麻薬取締官

など外の専門家による講演会、学級活動などがあります。その内容はさまざまですが、まずは心身への有害性や社会への悪影響、中学生や高校生には薬物乱用開始の背景や要因、防止対策などの知識が挙げられます。危険を避け健康を重視する価値観や規範意識を育てる必要もあります。加えて、一般的な課題や特定の課題に対する対処能力の育成も求められます。具体的には意志決定やコミュニケーションなどの能力、仲間からの誘いを拒否する能力、酒などの宣伝に対する批判的思考力などです。そのうち、一般的な課題への対処に

必要な能力はライフスキルと呼ばれています。WHOによれば、ライフスキルは「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会的能力」とされています。ライフスキルとしては先に挙げた以外に、目標設定やストレス対処などのスキルも含まれます【⑥】。またそれらのライフスキルの基盤として自尊心の形成も重視されています。喫煙、飲酒、薬物乱用の防止には各健康課題に応じた健康教育と、一般的な対処能力であるライフスキルの育成を併せて行うことが有効です。兵庫県内では、姫路市の小

中学校が市教育委員会の支援の下、ライフスキル教育に取り組んでいます。文部科学省や(公財)日本学校保健会では防止教育を推進するため、DVDや冊子等の教材、指導者用参考資料などを作成し、全国の小・中・高等学校に配布しています【⑦⑧】。これらの教材や指導参考資料にはライフスキルが多く取り上げられています。一度ご覧になればいかがでしょうか。

\*今年7月、警察庁および厚生労働省は脱法ドラッグ等の危険性を明確にするため、呼称を「危険ドラッグ」に改めました。

## 指導には 十分な配慮が必要

政府は平成25(2013)年度から第四次薬物乱用防止五か年戦略をスタートさせ、目標1に「青少年、家庭および地域社会に対する啓発強化と規範意識向上による薬物乱用未然防止の推進」を掲げています。

学校においては「体育」「保健体育」はもとより、「特別活動」「総合的な学習の時間」「道徳」等の時間も活用しながら、学校教育活動全体を通して指導を行うことなどの方針が示されています。指導については家庭や地域社会との連携が不可欠であり、警察職員、麻薬取締官・員OB、学校医、学校薬剤師等との専門家の連携・協力による総合的な取り組みが必要です。

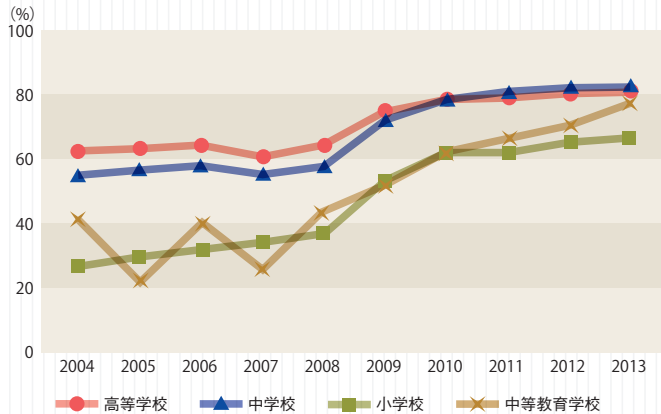
薬物乱用防止教室は、学校保健計画に位置付けられた指導を指すもので、

# 効果的な 薬物乱用防止教室の 推進に向けて

薬物等に関する専門的な知識を有する警察職員、麻薬取締官・員OB、学校医、学校薬剤師等の外部講師による指導が望ましいとされていますが、国や教育委員会等による研修を受けた薬物乱用防止教育に造詣の深い教員の活用も考えられています。

文部科学省は、全ての中・高等学校が薬物乱用防止教室を年1回は必ず実施することともに、小学校は地域の実情に応じて開催するよう努めることとしています。

薬物乱用防止教室開催状況 文部科学省調べ



薬物乱用防止教室の内容、対象、講師の例 「薬物乱用防止教室マニュアル(改訂)」((公財)日本学校保健会より)

内容	対象	指導者
<b>薬物乱用・依存の成り立ち</b>		
薬物と体 薬物と乱用 薬物乱用の現状	小学校高学年以上	医師、薬剤師、看護師、保健師、研究者、青少年補導員、警察官、麻薬取締官・員OB、薬務行政の担当者など
<b>喫煙、飲酒、薬物乱用の心身への影響</b>		
喫煙と健康(受動喫煙を含む) 飲酒と健康 有機溶剤(シンナー)の害 覚醒剤の害 大麻の害	小学校高学年以上 中学校以上	医師、薬剤師、看護師、保健師、研究者、青少年補導員、警察官、麻薬取締官・員OB、薬務行政の担当者など
薬物乱用と依存の悪循環 麻薬やその他薬物の害	高等学校以上	
<b>薬物乱用と社会的問題</b>		
青少年期と薬物乱用 薬物乱用者の人生 薬物関連の事件・事故	中学校以上	医師、薬剤師、研究者、青少年補導員、警察官、麻薬取締官・員OB、薬務行政の担当者、社会復帰施設職員など
<b>薬物乱用防止の対策</b>		
法律による規制と取り締まり 薬物乱用者・依存者の治療 薬物乱用を許さない社会づくり	中学校以上	警察官、麻薬取締官・員OB、家庭裁判所職員、保護観察官、保護司、研究者など
<b>意思決定能力の育成</b>		
誘いを断る 仲間のためにできること 薬に頼らない生き方 誘惑を見破る	全校種・全学年	研究者(教育学関係)、青少年補導員など

心身の発育・発達段階である青少年期は、喫煙や飲酒、薬物乱用のきっかけとなる機会が多い時期でもあり、依存状態に陥ると人格の形成が妨げられるなど、薬物等の影響が深刻なかたちで現れることがあります。従って、学校における薬物乱用防止に関する指導がきわめて重要な意味を持ちます。



きとう ひで あき  
**鬼頭英明**

学校心理・発達健康教育コース教授

## 薬物乱用防止教育の主なポイント

「薬物乱用防止教室マニュアル(改訂)」(公財)日本学校保健会より



### 【必要な内容】

- ① 薬物乱用は限られた人や特別な場合の問題ではなく、誰の身近にも起こり得る問題であることを明確に述べること
- ② 乱用される薬物は使用することはもちろん、「所持することも禁止されている」という曖昧さのないメッセージを必ず含んでいること
- ③ 講師が伝えたい内容で一方的に構成するのではなく、児童生徒の興味・関心や理解力など、発育・発達段階に十分考慮した内容や指導方法であること
- ④ 害や怖さのみを強調するのではなく、「薬物等の誘惑に負けない気持ちを持つことが充実した人生につながる」という積極的なメッセージを含むこと
- ⑤ 児童生徒がおかれている地域や家庭環境を非難したり、酒やたばこを販売する職業を悪と決めつけたりしないこと

### 【不適切な情報】

- ① 薬物乱用に関する行動について、言い訳や口実を与えるような情報
- ② 乱用される薬物の入手方法や使用方法を教えるような情報
- ③ 薬物乱用者や薬物依存の患者の治療、更生、社会復帰のための情報※薬物乱用を経験したタレント等が自らの更生を語る内容のビデオ教材など、第2次・第3次予防のための教材は児童生徒に薬物依存から簡単に抜け出せるというイメージを与える危険性があるので、第1次予防を主とする学校の薬物乱用防止教育では取り扱いに注意が必要
- ④ 「ソフトドラッグ」や「薬物乱用とは何回も繰り返し薬物を使用することである」など、誤解を招く可能性のある情報
- ⑤ 「薬物を使用するか否かは本人(子ども)自身が決めることである」といった表現が使われている情報

危険性を将来教員となる学生により周知し、その怖さを子どもたちに伝えることの方が効果的ではないか」との意見で一致しました。

早速、昨年7月に試みとして学部3年生を対象とした授業で麻薬取締官をゲストティーチャーとして講義に招きました。さらに、大学院の講義「学校保健研究」において講義をしていただくとともに、9月には麻薬取締部の施設見学を実施しました。本年度は、学部1年生を対象に喫緊の課題となっている危険ドラッグを含めた薬物乱用の危険性について、現実には起きている事例を中心に講義をしていただきました。

学生は、小・中・高等学校の授業で薬物乱用の危険性については学習していますが、今回の講義で、リアルに身近で起きていることやその危険性について再認識できたようです。麻薬取締官に相談ができることなど、今後の教員生活に生かしていきたい情報があったという声が多く寄せられました。

麻薬取締官が日頃の業務の中で目の当たりにしてきた薬物乱用者を減らすためには、将来教員となる教員養成系大学に通う学生がキーパーソンとなるという考えの下、こうした取り組みを今後も積極的に進めていこうと考えています。

入念な打ち合わせが不可欠です。また、薬物乱用経験者を講師として迎える場合は、薬物乱用問題の深刻な側面を軽視したり、人権を傷つけることがないように十分な配慮が必要です。

## 麻薬取締官との連携

麻薬取締官は、厚生労働省の地方厚生(支)局に設置されている麻薬取締部に所属しています。その職務は、刑事訴訟法に基づく特別司法警察員としての権限があり、メディアでは麻薬

と聞いただけで、知らない健全な社会生活を実現するため、その専門性を生かし、取り締まりはいつまでもなく相談業務に至るまで幅広い分野での活動を展開しています。最近では、危険ドラッグの店舗販売に対する取り締まりで注目を浴びていますが、その人数は全国でも267人と限られています。

昨年、とある研修会がきっかけとなり、近畿厚生局麻薬取締部神戸分室の高橋正分室長と話をする機会がありました。その中で、「麻薬取締官が各学校へ出掛けて普及啓発するには人数的な限界があること」、「むしろ薬物の危

## 麻薬取締官が考える薬物乱用防止活動における教員養成大学との連携の重要性について

たか はしただし  
高橋正さん

近畿厚生局麻薬取締部神戸分室長

危険ドラッグの乱用者は10代、20代という若年層に多く見られ、新たな薬物乱用の実態が浮き彫りとなっています。われわれ麻薬取締官も教育現場での啓発活動に力を入れてきましたが、マンパワーに限りがあり効果的なものとなっていませんでした。

このたび、兵庫教育大学に赴く機会があり、薬物乱用問題の実態に精通した教員を養成することに光を見出しました。つまり、教員が日常的に薬物乱用の真の悲惨さについて熟知し、さまざまな機会に児童生徒たちに語るこそが効果的な啓発教育になると思ったのです。

教員養成大学の学生に、麻薬取締官が体系的に乱用薬物問題の現状をタイムリーに繰り返し語り、連携していくことは、将来教育現場で教壇に立つ彼らを大いにサポートするものと、その重要性を確信しています。



↑ 本学での麻薬取締官による講義



ほり え ゆう じ  
**堀江祐爾**  
文化表現系教育コース教授



なる せ ま さ み  
**成瀬雅巳**  
兵庫教育大学附属中学校教諭

●「理論と実践の融合」に関する共同研究活動とは、兵庫教育大学のミッションの一つである「教育実践学の推進」をより一層図り、その成果を国内外に発信し、学校現場や教育委員会のニーズに応えるため、平成23(2011)年度から「理論と実践の融合」に関する学際的な共同研究を教員から公募し展開しています。

思考力・判断力・表現力を育成するために言語活動を取り入れた効果的な指導方法の研究 — 論理的に「話す・聞く」「書く」指導をととして —  
(平成24・25年度「理論と実践の融合」に関する共同研究活動に採択)

**本**

研究は、国語の授業でグループでの相互作用を重視する教授法を用いて、①どのような課題を設定することが論理的に「話す力・聞く力」の育成につながるのか、②どのような「論理」モデルを構想や評価の過程で活用することが論理的に「書く力」の育成につながるのかという2点を検証し、それを基に全ての教科等で言語活動を充実させる指導方法を開発することを目的としました。

具体的には、兵庫教育大学附属中学校の3年生を対象に7時間の授業を行い、その前後に作文意識調査アンケートと作文テスト<sup>1)</sup>を行いました。単元の課題は「『2030年までに原発をゼロとし、すべてのエネルギーを化石燃料と再生可能エネルギーで確保するべきである』というプランを出発点にして、どのような解決策があるのかを考える」とし、さまざまな立場のデータや意見を比較検討している資料を準備しました。そして、トウルミンモデルを

基にした「論理」モデル<sup>2)</sup>を活用してグループで課題解決のための論点を整理し、話し合いで社会的判断としての合意を形成し、最後に個人の意見をまとめる授業を展開しました。その結果、賛否が分かれる公

「グラフ」、論理的に「書く力」を獲得することが明らかになりました。このことから、まず1・2年生の間に「事実」「理由づけ」の違いを明確にした上で「主張」「事実」「理由づけ」の三角ロジックを扱い、3年生で

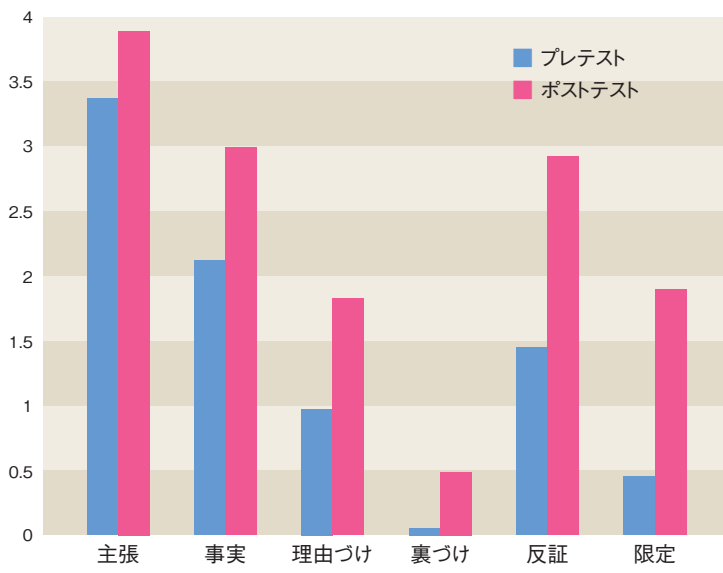
はトウルミンモデルについて指導することが、「書く力」を育てることに有効であると考えられます。附属中学校では、この研究成果を全ての教科等で指導に生かし、言語活動を充実させる取り組みを図っていきます。

共的な課題を設定することで、自分の考えを友達に分かりやすく根拠を示して話したり、友達の反論を理解しようとしつかりと聞いたりするなど活発な話し合い活動が行われ「例」、「話す力・聞く力」が育成されること

**【例】トウルミンモデルについて書かれた生徒の自由記述例**

- 私はトウルミンモデルについて書きたいと思います。最初、私たちの班の人は私以外全員「反対」でした。しかし、トウルミンモデルに沿って自分の意見を言うと皆、納得してくれたのでとてもうれしかったです。また後日、「テストの花道」というテレビ番組で小論文の書き方が紹介されていたのですが、トウルミンモデルと同じようなことを言っていて驚きました。最初に何も見ずに書いた生徒の作文はその考え方をに入れるだけで、すごく良くなりました(テレビで)。全国の中学生でもトウルミンモデルを知っている人はほとんどいないと思うけれど、ぜひこの考え方は広めるべきだと思います。次から、作文を書くときにはこの考えを意識したいと思います。
- トウルミンモデルを用いて自分の意見を書いて、論理的に意見を表す方法を学びました。また、グループでの話し合いでは意見を交わして自分の考えを深めることができました。原発についての話し合いは難しく、班の中で意見が分かれ討論になりましたが、結果的に自分の納得のいく意見で、自分の考えを話し合うことができてよかったです。これからも「論理的に話す」ということが求められるときがあると思うので、この授業の経験を生かしていけたらと思います。

**【グラフ】項目別作文評価得点**      プレテスト<ポストテスト(平均値の向上)



- (1)…授業前のテストはプレテスト、授業後のテストはポストテスト
- (2)…「主張」「事実」「理由づけ」「裏づけ」「反証」「限定」の6項目から成る「論理」モデル

# この先生にズームイン

## 感性を呼び起こすサンプル

造形表現のためには、普段から感性を養う努力が必要。「物や風景を見て何かを感じる事が重要で、学生にはそういう環境に身を置くよう指導していますが、私からも優れたサンプルを提示します」。スイスのネフ社の積み木は色彩がきれいで、おもちゃとしてもクオリティーが高い逸品。回すことで混色のシミュレーションができるこまもある。



## プライベートはジャージーで

ファッションとして、カジュアルでおしゃれなジャージーを愛用。サッカーのクラブチームのウェアなどを集めている。「体を動かすのが好きなので、服装も活動的に見えるのが好きなんですよ」



## 趣味はサッカー

筑波大学に在籍していたころに留学生でサッカーチームをつくっていた。メッセージ入りのボールは、つくば市を離れる時にチームの仲間が贈ってくれたもの。今はサッカーをする時間が取れないので、少々フラストレーションがたまり気味だとか。



先生に質問!



## つい手が出る3次元の物

街で立体的なオブジェやペーパークラフトを見つけると、どんな仕組みになっているのかが気になり、つい買ってしまつとか。「学生たちの造形のヒントになればと思い、研究室に飾っています」



## アップル社の製品が好き

デスクトップパソコンのiMacをはじめ、ノートパソコンのMacBook AirとPro、タブレット型コンピューターのiPad、スマートフォンのiPhoneなど、机回りにはアップル社の製品がずらり。「発売日にストアの前に並ぶ人の気持ちはわかります」。iPhone6も、もちろん購入予定。



きむ ど ひょん

## 金度亨 助教

文化表現系教育コース  
[芸術系教育分野(美術)]

韓国出身。平成6(1994)年、蔚山大学視覚デザイン学科卒業。その後筑波大学に留学し、21(2009)年、同大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻博士後期課程修了。同大学助教を経て25(2013)年から現職。研究分野は構成・デザインで、表現を通して造形発想・造形思考を高めることを目標とする。授業は「構成教育論」「構成・デザイン表現研究」「デザイン実技」などを担当。



**A** 俗にいう「だまし絵」、いわゆる錯視を用いた作品や動く造形を作っています。サッカーボールに見立てた作品は、実際にはへこんでいる部分が逆に飛び出して見えます。制作のモチーフは、自分がまず楽しむこと。自分が楽しいと感じた部分を、作品を見てください。面白くユニークな作品を発表して、皆さんに新鮮な刺激を与え、今まで知らなかった世界を感じていただきたいと思っています。

**Q** アーティストとして制作もされていますね。

**A** 構成とは、あらゆる造形表現に共通する基礎的で重要な問題について、理論および実技を通して造形的可能性や展開を考える領域です。形に例をとると、2次元の観点からも、3次元の観点からも、各方面からの見方や形の構造の探究によって生まれてくるさまざまな課題について深く考えていきます。デザインや造形の基礎ともいえる領域ですので、学生たちが将来教員になった時に、造形表現とはどういうことなのかを論理的に説明する際に役立ちます。

**Q** 先生のご専門、「構成」について教えてください。

**A** 構成とは、あらゆる造形表現に共通する基礎的で重要な問題について、理論および実技を通して造形的可能性や展開を考える領域です。形に例をとると、2次元の観点からも、3次元の観点からも、各方面からの見方や形の構造の探究によって生まれてくるさまざまな課題について深く考えていきます。デザインや造形の基礎ともいえる領域ですので、学生たちが将来教員になった時に、造形表現とはどういうことなのかを論理的に説明する際に役立ちます。



やまぐち まお  
**山口真緒さん**  
堺市立はるみ小学校教諭

大阪市出身。平成23(2011)年に国際基督教大学を卒業し、大学院専門職学位課程小学校教員養成特別コースに進む。25(2013)年、現任校に着任。今年度は4年生を担当している。



ふじもと たかひと  
**藤本孝仁さん**  
稲美町立天満南小学校教諭

稲美町出身。平成14(2002)年、学校教育学部生活・健康系専修コースを卒業。24(2012)年から今年3月まで、青年海外協力隊の一員としてナミビアのオヴィカンゲ小学校に派遣された。帰国後、現任校に復帰し、6年生を担当している。

→登校してクラスに入ってくる子どもたちに笑顔であいさつ



→ナミビアでの体育の授業。ゴールでハイタッチすることで一生懸命に走ることを促します



## 楽しい授業に向けて 笑顔で一日のスタートを

「おはよう！今日も一番乗りやね」。朝一番に教室に行き、子どもたちを笑顔で迎えるのが私の日課です。教員になって1年目の昨年度、「楽しい授業をしたい」と意気込むも、学級経営がきちんとできなければ楽しい授業はできないということを思い知りました。

思い悩んでいたころ、大学院時代に「毎朝、子どもたちを笑顔で迎えることで、子どもたちが楽しく安心して一日のスタートを切ることができ

## 子どもたちの笑顔は宝物 ナミビアで初心を取り戻す

原点に戻りながら、現地の子どもたち

「おはよう！今日も一番乗りやね」。朝一番に教室に行き、子どもたちを笑顔で迎えるのが私の日課です。教員になって1年目の昨年度、「楽しい授業をしたい」と意気込むも、学級経営がきちんとできなければ楽しい授業はできないということを思い知りました。

### ▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ 教育実践研究活動等に係る表彰について

8月9日、10日に山口市で開催した第34回大学院同窓会山口大会で、平成26(2014)年度「教育実践研究活動等に係る表彰」を行いました。この表彰は、教育実践研究活動等に顕著な成果を挙げ、大学や大学院同窓会の名誉を著しく高

めた修了生が対象。今年は4人を表彰しました。詳しくはHyokyo-netをご覧ください。

◎被表彰者(敬称略)

嬉野賞/佐倉義信(4期・言語系、大阪府)、福山逸雄(1期・生徒指導、沖縄県)

奨励賞/成澤真介(17期・障害児教育、岡山県)、藤本浩行(17期・教育方法、山口県)



あら い りゅう いち  
**荒井隆一さん**

修士課程  
教育コミュニケーションコース2年

昭和47(1972)年、神戸市生まれ。平成7(1995)年兵庫県の公立小学校教員に。25(2013)年、大学院に入学。三田市立武庫小学校で6年生を担当していた24(2012)年度の教育実践をまとめた論文「自己肯定感を高めるフィールド総合の実践」で今年7月、第63回読売教育賞を受賞した。

**第63回 読売教育賞表彰式**



◎読売教育賞とは  
昭和27(1952)年創設。全国の教育者・団体を対象に13部門で教育実践の論文・募集し、優れたものを表彰する。荒井さんの論文は生活科・総合学習部門で最優秀賞に選ばれた。

**キラリな人**  
SHINY PERSON

**児童を信じる  
大切さを  
あらためて  
実感しました**

**現**

任校で6年生を担当していた当時の修学旅行での教育実践をまとめた論文で今年7月、読売教育賞を受賞した。20年近い教員生活で最も対応に苦慮した学年だったというが、「子どもが日に日に成長する姿を目の当たりにし、ぜひ記録しておきたいと大学院入学後に書き始めました」。

その学年は3年生時に学級崩壊が起きるなど、児童の問題行動が常態化。自己肯定感を調べる校内アンケートでは、自分に自信が持てない子どもが他学年よりも多いという結果が出た。6年生に進級時、「何とか自信をつけて卒業させたい」と担任を志願。他の担任とも話し合い、「児童に、やればできるを実感させる」という目標を立て、行事のたびに児童たちで何をするかを話し合わせ、そこで出たアイデアは必ず実行させた。

「どんな些細なことでも成功すれば褒め、自信を持てるよう

にしました」

論文に取り上げた9月の広島への修学旅行でも、児童たちが観光スポットを調べ、それを基に行程を組んだ。被爆者の体験談に心打たれた児童たちは旅行後、劇や紙芝居で平和の尊さを伝えるイベントを自主的に企画し、12月に開催した。「準備を進める彼らの表情は生き生きとし、4月ごろと比べて目の輝きが明らかに違いました」

一連の実践から、教員にとって児童の可能性を信じるのが大切だと語る。「問題行動を起こす子どもでも必ず良くなると信じて接すれば、向こうもこちらの思いに気付く、悪い方へ向けていた力を良い方へ注ぐようになります」

校内の問題の多くは教員と児童生徒との関係が良好でないことに起因すると気付いた今、大学院では教員と子どものより良いコミュニケーションの在り方について研究に励んでいる。

～第11回(平成24年度)学生生活実態調査報告書から検証～

大学祭の意義

交流を深める場として  
多くの学生が共有

大学祭への参加率は、学部生92%、大学院生でも34%と高い。「大学祭をどう考えていますか」という問いには、「お祭り」と答えた者が学部生で72%、大学院生で64%とそれぞれ1位となっている。続いて学部生、大学院生ともに、「学生同士の交流の場」、「地域との交流の場」、「課外活動のPRの場」が高い。

主催する側も参加する側も、お祭り感覚ではあれ、積極的にコミュニケーションを深める場を求めている事実は大切に必要があるだろう。今年度は11月22日(土)、23日(日)の両日、「Heart to Heart」仲間の絆」をテーマに開催するので、ぜひご参加を。

演奏を披露する  
絶好の機会



たぐちまな  
田口真奈さん

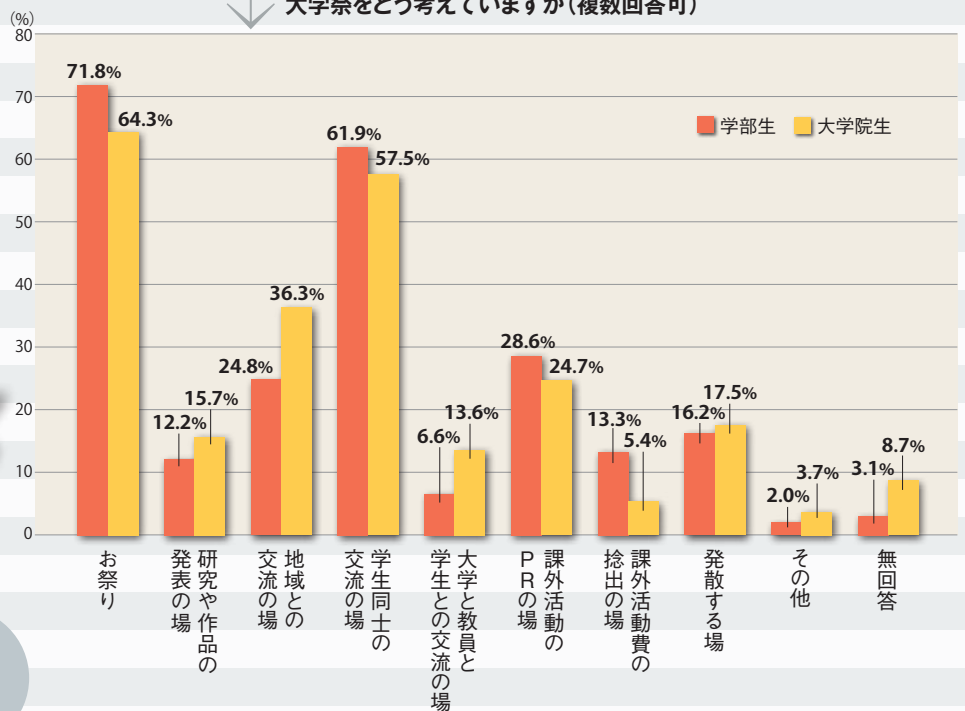
軽音楽部部长  
学校教育学部  
幼年教育系コース3年

しまだたける  
島田武さん

軽音楽部部員  
学校教育学部  
芸術系コース(音楽)3年

大学祭は軽音楽部のほぼ全てのバンドが出演するイベントで、今年度は約50組が演奏します。バンドから弾き語り、曲もロックやポップなどジャンルも幅広く、きつとお気に入りの音楽を見つけてもらえると嬉しいです。部外の方たちに演奏を聞いてもらう絶好の機会であり、この日のために練習を重ねています。成長した姿をぜひ見てほしいです。

大学祭をどう考えていますか(複数回答可)



ひねゆうすけ  
日根勇介さん

大学祭実行委員長  
学校教育学部  
総合学習系コース2年



みんなが楽しめる  
大学祭を企画

大学祭は準備、企画と、全てにおいて私たち学生が主体となってつくり上げるものです。学生たちが出店する模擬店やバンド演奏、附属幼稚園とのコラボレーション企画など多彩な催し物があります。大学生活に慣れたばかりで、わくわくしている1年生も、兵教大のことは知り尽くしているという先輩たちも、きつみんなが楽しめます!

大学祭の出会いは  
かけがえのないもの

昨年の大学祭で、私たち留学生は水餃子の模擬店を出しました。餃子をゆでる係、スープを作る係、会計係など役割を分担し、互いに助け合いながら販売しました。地元の方もたくさんお越しいただき、水餃子を準備する間に親しく会話することができました。留学生同士の交流はもちろん、地元の方と出会えたことも大学祭のかけがえのない思い出です。



きょうぎょうり  
龚晓莉さん(中国)  
特別聴講学生

## 自分にとって幸福とは何かを 考えてみたくなります

**幸** 福とはどのようなことをいうのかは、人それぞれだと思えますし、人と同じである必要もないでしょう。私のお薦めの曲は福山雅治さんのアルバム「残響」に収録されている「幸福論」です。「生きてくためのメニューにはいくばくかの幸福感って人にはやっぱり必要なんです」と始まる曲は、福山さん自身の幸福論を書いたものだそうで、相手がいて初めて自分が幸福になるという歌詞です。聴くことでも幸せな気持ちになります。自分にとっての幸福とは何かを考えてみるのも面白いかもしれませんね。



福山雅治  
「残響」  
発売元/ユニバーサルミュージック

本郷陽二  
「頭がいい人の敬語の使い方  
—仕事ができる人間が使う究極の話し術」  
日文新書



いんむたく  
殷夢澤さん(中国)  
大学院修士課程  
行動開発系教育コース2年

**留** 学中に日本語の敬語を勉強したいと思っている私に、本書はぴったりの一冊です。ビジネス書のようなタイトルですが、日常会話における敬語の実用例も紹介されています。私が一番難しいと思うのが、電話応対で用いる敬語です。例えば、電話口で「お声が小さいのですが」と言ってしまったことがあるのですが、それよりも「お電話が遠いようなのですが」と言う方が相手は言外の意味を察し、大きな声で話してくれると思います。本書の内容をマスターすれば、いつか立派な日本人になれるかもしれません。

## 敬語をマスターしたい私には マストアイテムです

## 軽快な歌とダンスが 活力を与えてくれます

**1** 970年代から80年代にかけて世界的に活躍したスウェーデンのポップグループ、ABBAの代表曲で構成されたミュージカルの映画版。ギリシャのエーゲ海に浮かぶ島を舞台に、愉快な人々が魅せる歌とダンスが観る者を幸せな気分にしてくれます。物語が進むにつれてテンションはどんどん上がりますが、ただ楽しいだけでなく、過ぎ去ってしまった青春や未来の選択について考えさせられる場面もあります。「明日からも頑張ろう!」という気持ちにさせてくれる作品です。



「マンマ・ミーア!」(DVD)  
発売元/NBCユニバーサル・エンターテイメント  
1,429円(税抜)

ベーカーシェフ社店  
加東市社1126-1 ☎0795-42-5121  
7:00~20:00 無休



たまわきけんた  
玉脇健太さん  
学校教育学部  
社会系コース2年

**加** 東キャンパスから車で約15分、イオン社店内にあるパン屋さんです。メロンパンやクロワッサン、クリームパンなどの定番から、お米パンといった他店ではあまり見かけないパンまで幅広い品ぞろえです。どのパンもとてもおいしく、手頃な値段なのがうれしいです。キャンパスからイオンへはカレッジバスが運行しているので、車やバイクを持っていない人も気軽に行くことができます。皆さん、ぜひ一度訪ねてみてください。

## カレッジバスで行ける 品ぞろえ豊富なパン屋さん

## ワタシのイチオシ

心に残る映画、つい口ずさむ音楽、  
行きつけのスポットや思い出の一冊。  
みんなにも薦めたい私のお気に入りを紹介。

募 集

**公開講座**  
**「特別支援教育キャラバン**  
**— 姫路地域における特別支援教育を考える —**  
**の受講生** 学 教 市

「姫路きょういくメッセ」の特別セミナーとして開催。兵教大教員による特別支援教育に関する講演、姫路地域の学校等における特別支援教育への取り組みに関する実践発表を通し、特別支援教育の現状と課題について考えます。無料。

◎日時 / 2月7日(土)13:00～16:00

◎場所 / 姫路市立総合教育センター

◎対象 / 一般、現職教員

◎定員 / 150人(先着)

◎申し込み方法 /

12月中旬ごろから電話、ファクス、メールで受け付け。ファクス、メールの場合は住所、氏名、所属、連絡先、参加希望内容(※)を明記すること

※「姫路きょういくメッセ」のスケジュールは12月中旬ごろに姫路市立総合教育センターのホームページ、同メッセのフェイスブックに掲載予定です

☎ 姫路市立総合教育センター

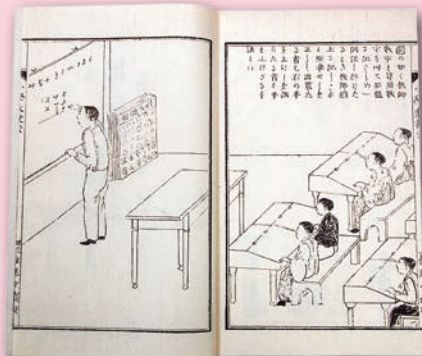
☎ 079-224-5842 ☎ 079-224-5847

✉ himeji\_edu\_messe@himeji-hyg.ed.jp

催 し

**教材文化資料館平成26年度後期展**  
**「めざせ! 板書の達人」** 学 教 市

板書の歴史を振り返るとともに、チョークの使い方や貼り物の工夫など板書の達人になるためのコツを紹介。開館5周年記念として県内の現職教員(大学院生を含む)を対象に板書の実践例を募集。第2期展示で全ての応募作品を展示し、特色のあるものは表彰します。



←「師範学校小學校教授法」(復刻)  
 明治6(1873)年 雄風舎

◎開催期間 / 第1期:12月19日(金)まで、第2期:1月13日(火)～2月27日(金)

◎場所 / 教材文化資料館(附属図書館内)

◎開館時間 / 平日8:30～22:00、土曜・日曜・祝休日10:00～17:00

◎休館日 / 11月15日(土)、12月20日(土)～1月12日(月祝)、17日(土)、18日

(日)、27日(火)、2月25日(水)、26日(木)

☎ 教材文化資料館 ☎ 0795-44-2362

**理科&科学の**  
**地域でのサイエンス祭**

**7月25日～28日 小野市うるおい交流館エクラ**

小野市との地域連携推進事業として平成22(2010)年度から始まった同祭は、子どもたちに実験に親しむ機会を提供し、科学への興味、関心を育てることが目的。5回目となる今年は4日間で延べ約1,500人が集まり、子どもたちは「実験」「体験」「観察」「ものづくり」の4つのコーナーで科学の不思議を体験しました。附属小学校教員による実験ショー、附属中学校の教員や科学部によるものづくりブースも盛況でした。



**みんなの声かけ運動**  
**応援協定締結式**

**7月30日 兵庫県公館**

兵庫県がユニバーサル社会づくりの一環として展開している「みんなの声かけ運動」。障害者や高齢者、妊婦など街中で困っている人に声を掛けて助け合うという運動に兵教大も賛同し、井筒紳一郎理事が学長代理で締結式に出席。井戸敏三知事から協定書を手渡されました。



【情報の対象】 学=学部生・大学院生 教=現職教員 市=市民

支援事業

平成26年度  
課外プロジェクトが  
決定 学

学生生活の一層の充実を図ることを目的に、大学院生、学部生が自主的に企画した取り組みに対し活動資金を支援する「課外プロジェクト」事業。今年度は8件の応募があり、下記の5件に決まりました。各プロジェクトの内容に応じて20万円を上限に、物品等の購入、旅費、謝礼等に係る費用を援助します。なお、平成27(2015)年度の募集は来年4月に告知予定です。

【今年度採択の課外プロジェクト】※敬称略

第6回よっ社こいこいまつり

宮北誠(学校教育学部言語系コース2年)

平成20(2008)年の第5回を最後に途絶えている祭りの復活に向け、よさこい部の2年生が中心となって第6回の実行委員会を設立。12月13日㊥の開催を目指す。

Intercultural Projects

藤池陽太郎(大学院専門職学位課程小学校教員養成特別コース3年)

日本人学生(主に学部生)と留学生の親睦を目的に、8月から2月にかけて月1回のペースでバーベキューや文化交流会を開催する。

カンボジアの子どもたちとの交流を通して  
世界を知ろう

牧山達雄(大学院修士課程行動開発系教育コース1年)

神戸市内の小学生を対象とした国際理解協力教育の出前授業。カ

ンボジア笑縁団体「Momojiro」の協力の下、日本とカンボジアの生活や教育環境の違いを学ばせる。

兵教びかびか大作戦!

青山武司(大学院専門職学位課程学校経営コース2年)

学校経営コースの大学院生37人が月2回、そろいのユニフォームを着て、キャンパス内のごみ拾いや草取りなどの美化に取り組む。

即興演劇の上演と稽古を通じた  
留学生交流プロジェクト

大島秀子(大学院修士課程教育コミュニケーションコース2年)

留学生と日本人学生の混成メンバーで即興演劇(インプロ)に挑戦。稽古から公演までを通して、互いに理解を深めることを目的とする。

7月～9月の主な出来事

特別支援教育モデル研究開発室  
「Café LiaisonⅢ」

7月15日 附属図書館ライブラリーホール

対話を通して特別支援教育への理解を深めるというイベント「Café Liaison」の3回目。「こう進めたい!学校現場のインクルーシブ教育システム」と題し、前文部科学省特別支援教育調査官の樋口一宗教授(特別支援教育コーディネーターコース)と、前小野市教育委員会学校教育課長の 大西義則教授(授業実践開発コース)が対談。樋口教授は国の立場から見たインクルーシブ教育の方向と支援の仕組みについて法律を交えながら説明し、大西教授は教育委員会や学校現場が抱えているインクルーシブ教育の課題を提示しました。会場には学部生や大学院生のほか、地域の教育関係者など50人余りが詰めかけ、インクルーシブ教育システム構築への関心の高さがうかがえました。



シンポジウム  
「子育て支援の社会化  
～地域社会連携における大学の役割～」

7月19日 神戸ハーバーランドキャンパス

今年度の運営費交付金特別経費の新規事業に採択された「大学の機能強化としての就学前教育専門職(仮称)養成の高度化と幼小連携を含めた総合的カリキュラム開発」の一環として開催。就学前教育カリキュラム研究開発室長、名須川知子教授が会の趣旨を説明した後、子育て支援センター(ルーム)を開設している兵庫県内の大学から、関西国際大学の濱田格子講師、夙川学院短期大学の井上千晶講師、神戸常盤大学の上月素子教授がそれぞれの取り組みを紹介しました。続いて、神戸大学大学院の伊藤篤教授が登壇。研究、教育、地域貢献の各視点から大学が子育てを支援することの意義について語り、会場の大学教員や幼稚園教員、保育士ら約50人は熱心に耳を傾けました。





ふじ わら ただ お  
**藤原忠雄**

学校心理・発達健康教育コース教授

学級経営や授業づくりなど  
毎日の仕事の中で  
ストレスを感じる人が多いです。  
軽減させるよい方法はありますか。

**今**

の社会では、子どもから老人まで全ての人がストレスにさらされています。従って、教員に限らず、ストレスと上手に付き合うこと(ストレスマネジメント)は、現代社会に生きる上で必要不可欠なスキルといえます。

ストレスマネジメントにはさまざまな方法があります。ここでは最も基本的なものとして、「リラックス」と「受け止め」について取り上げます。

まず、毎日10分程度のリラックスタイムを設けることが重要です。リラックスすることで心身の緊張が緩和し、ストレスによる心身のダメージが回復します。また、気分転換が図られ、物事を冷静に受け止め判断できるようになります。その結果、日々の気分の改善や人間関係の好転などに結び



付きます。

次に、物事や出来事の受け止め方を合理的、客観的、自己肯定的なものにすることも重要です。例えば、朝、出会った人にあいさつしたにもかかわらず、相手からあいさつが返ってこなかったとします。「あいさつは返すべきだろう」「なぜ無視されるの?」と受け止めた人は、爽やかな気分がイライラやモヤモヤに一変します。一方、「聞こえなかったのかな」「何か心配事でもあるのかな」な

どと受け止めた人は爽やかな気分が維持されます。前者のようなストレスを自ら背負い込む受け止め方を合理的なものに修正できれば、日々の生活でストレスを感じることが減少します。

これらの「リラックス上手」と「受け止め上手」を日頃から心掛けてみてはいかがでしょうか。加えて、日々の規則正しい生活習慣(6時間睡眠の確保等)が重要であることは言うまでもありません。

**キャンパストピックス**

CAMPUS TOPICS

**富永教授が  
兵庫県功労者表彰を受賞**

5月、富永良喜教授(臨床心理学コース)が平成26年の兵庫県功労者表彰を受けた。長年にわたる大学運営と学術研究に精励し大学教育の振興に尽くした



功績をたたえられたもの。富永教授は「傷ついた子どもたちを兵庫の教職員と支援してきたことによるものと感謝いたします」と喜びを語った。

**修士課程の岡田愛さんが  
日本歌曲コンクール第3位に**

5月、奏楽堂日本歌曲コンクール「第21回作曲部門(一般の部)」で大学院修士課程文化表現系教育コース(音楽)1年の岡田愛さんが「八木重吉の詩による歌曲集」で第3位に受賞。7月に都内で開かれた入賞記念コンサートで受賞作が演奏された。岡田さんは「これからも作曲や演奏活動に励み、コンクールに挑戦し続けたいです」と抱負を語った。



**福本理事・副学長が  
InSEA世界大会で功労賞を受賞**

7月、福本謹一理事・副学長がオーストラリアのメルボルンで開催された「InSEA World Congress (国際美術教育学会世界大会)2014」で功労賞に当たる「El-Bassiouny Award」を受賞。国際的な教育実践交流において主導的な役割を果たした功績がたたえられた。福本理事・副学長は「日本のみならず世界の子どもたちの未来形成に役立てるよう今後も尽力していきたいと思っております」と語った。





## 小中一貫教育の 制度化と 教員養成改革

現在、中央教育審議会の小中一貫教育特別部会と教員養成部会において、小学校教育と中学校教育を接続する小中一貫教育の制度化と、それに対応した教員免許状の創設のあり方が審議されています。これは、本年7月3日の教育再生実行会議第五次提言の具現化策を検討するように求めた7月29日の文部科学大臣諮問を受けて行われているものです。

子どもの心身の発達の変化に小学校6年、中学校3年の区分が適合していないために、小学校と中学校の違い、たとえば教科担任制やクラス、部活動における人間関係の変化に適応できない子どもが増えています。いわゆる中1ギャップです。解決策として、小中連携教育や小中一貫教育が全国各地で導入されています。文部科学省の最新調査によれば、すでに1,130の実施事例があり、現行制度の下で4-3-2や5-4の学年数区分を特例的に設けた教育課程が編成されています。中学生の不登校の減少など中1ギャップの緩和をはじめ、多くの効果が報告されています。

我が国では急激な少子化が進行しています。近い将来、バス通学を活用しても単独の小学校、中学校が成立しない地域が格段に増える予想されます。そこでは、一定規模の学習集団、生活集団を確保するためには、小学校と中学校の連結は望む、望まないに関わらず、必然的な選択とならざるを得ません。

このような小中学校間の段差の解消と学校規模確保を目的として、小中一貫教育の制度化は実現すると思われます。9年制の小中一貫教育学校が創設されるかもしれません。制度化されれば、設置基準が制定され、小中一貫教育を実施するのに必要な教職員配置や施設設備などの条件の整備が義務づけられます。

教員免許状は整備されるべき最も重要な条件の一つです。小中一貫教育学校の教員免許状の創設や、小学校免許状と中学校免許状の併有が必須となります。小中学校の現職教員の両免許状の取得がまず促進されなければなりません。大学における教員養成教育は基本的に変わります。これまで教員養成教育は初等教育と中等教育に分けて行われていますが、小中一貫教育に対応する教員養成教育は両方を結合・融合したものとなります。教員を志望する学生は、小学校もしくは中学校のどちらかに必要な能力・専門性ではなく、両方に必要な能力・専門性を同等に身につけることが求められます。

今年中に答申をまとめ、来年の通常国会に学校教育法、教育職員免許法等の改正案を提出し、平成28年度から施行するとのスケジュールが中教審両部会で示されています。兵庫教育大学は、学部では初等教育教員養成課程として小学校教員養成を主たる使命としていますが、これを小中一貫教育の教員養成課程に拡充する必要があります。大学院における教員養成や現職教員の再教育のあり方も自ずと変わってきますし、とりわけ教職大学院小学校教員養成特別コースは小中一貫教育に対応したものに改変される必要があります。平成28年度に始まる法人化第3期の大きな改革課題の一つとなりそうです。

かじさてつや  
学長 加治佐哲也

# 兵庫教育大学からのお知らせ



## 平成27年度 大学院学校教育研究科学生募集(11月選抜)

修士課程 ▶ 募集人員97人

◆人間発達教育専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	3人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	3人
	夜間クラス	若干人
学校心理・発達健康教育コース	昼間クラス	5人
	夜間クラス	5人
臨床心理学コース	昼間クラス	10人
	夜間クラス	10人
◆特別支援教育専攻		
障害科学コース		15人
特別支援教育コーディネーターコース		6人
◆教育内容・方法開発専攻		
認識形成系教育コース	社会系教育分野	昼間クラス 10人 夜間クラス 若干人
	自然系教育分野(数学、理科)	昼間クラス 6人 夜間クラス 若干人
		言語系教育分野(国語、英語)
	文化表現系教育コース	芸術系教育分野(音楽、美術)
行動開発系教育コース		昼間クラス 8人
	スポーツ健康系教育分野(保健体育)	夜間クラス 若干人
	応用生活系教育分野(技術・家庭、工業、情報)	夜間クラス 若干人

## 専門職学位課程(教職大学院) ▶ 募集人員51人

◆教育実践高度化専攻		
学校経営コース	昼間クラス	13人
	夜間クラス	若干人
授業実践開発コース	昼間クラス	15人
	夜間クラス	若干人
生徒指導実践開発コース	昼間クラス	13人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		10人

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパス、夜間クラスは主に神戸ハーバーランドキャンパスで開講します(昼間と夜間の区別がないコースは昼間クラスのみです)

- 出願期間 10月17日(金)まで(必着) ●試験日 11月15日(土)(筆記・口述)
- 合格者の発表 11月28日(金)10:00 ●入試課 ☎0795-44-2067

## 平成27年度 園児・児童・生徒募集

### 附属幼稚園

#### ●募集人員

3年保育(3歳児)40人

2年保育(4歳児)20人

※27(2015)年4月1日時点での年齢

- 出願期間 10月27日(日)～31日(金)
- 選考結果発表、抽選日 11月29日(土)

☎附属小学校事務室 ☎0795-40-2218

### 附属小学校・中学校

●公示日 10月31日(金)

☎附属小学校事務室 ☎0795-40-2218

☎附属中学校事務室 ☎0795-40-2224

## 第33回大学祭(嬉望祭)

今年のテーマは「Heart to Heart～仲間の絆～」。情報社会の今、人と人とのつながりが重要視されています。大学祭を通して、心から心へ、学生たちのメッセージが届いてほしいという思いを込めています。模擬店やクラブ

☎=問い合わせ先 ☑=申し込み先

発表をはじめ、東日本大震災復興募金企画、芸能人のステージやバンド演奏など盛りだくさんの内容です。

●開催日 11月22日(土)、23日(日)☑

●場所 加東キャンパス

☎学生支援課

☎0795-44-2050 ☎0795-44-2049

☒ office-gakusei-t@hyogo-u.ac.jp

## 平成26年度 全国市区町村教育長セミナー

教育行政の地方分権化が進む中、市(区)町村教育長のリーダーシップの支援と情報交換の場の提供を目的に開催します。

●開催日 12月20日(土)～22日(日)

●会場 神戸ハーバーランドキャンパス

●対象 全国市(区)町村の教育長

●定員 50人

●申込締め切り 11月21日(金)

☎☑企画課

☎0795-44-2303 ☎0795-44-2320

☒ pro-gyosei@hyogo-u.ac.jp

## 附属中学校研究発表会

研究テーマ「～ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた～わかりやすく、やりがいのある授業づくり」

●開催日 10月25日(土)

●場所 附属中学校

●内容 基調提案、公開授業I・II(各教科)、教科文科会、講演会

☎附属中学校(担当:大山)

☎0795-40-2222 ☎0795-40-2225

http://www.hyogo-u.ac.jp/middle

## 附属幼稚園研究発表会

研究テーマ「協同性を育て道徳性・規範意識の芽生えを培う指導の在り方」

●日時 12月6日(土)9:00～16:00

●場所 附属幼稚園

●内容 保育公開、研究協議

☎附属幼稚園(担当:白石)

☎0795-40-2227 ☎0795-40-2228

☒ kinder@hyogo-u.ac.jp

http://www.hyogo-u.ac.jp/kinder

## 附属小学校研究発表会

研究テーマ「『子ども-文化-教師』をつなぐ(2年次)-学びにひらく子ども」

●開催日 1月30日(金)

●場所 附属小学校

●内容 授業公開、講演会、分科会

☎附属小学校(担当:藤本)

☎0795-40-2216 ☎0795-40-2219

☒ element@hyogo-u.ac.jp

http://www.hyogo-u.ac.jp/element

## 編集後記

★今号の「教育最前線」は「薬物乱用防止」を取り上げました。最近、ニュース等で危険ドラッグに関わる事件が毎日のように報道されています。青少年における危険ドラッグの経験率が大麻や覚醒剤と同程度に達しているという調査結果をみると、この問題の深刻さを実感します。今号のテーマが皆様方の薬物乱用防止教育の一助になれば幸いです。(つ)★兵教大と地域との交流活動を紹介してきた「うれしの交差点」に変えて、今号から「うれしの掲示板」(12～13ページ)を新設しました。このコーナーでは、地域の皆さんへのイベント情報や地域との連携活動の様子などをお伝えしていきます。(や)

※バックナンバーは兵庫教育大学ホームページをご覧ください

## あなたの声を聞かせてください

「教育子午線」では、読者の皆さまの声を生かした誌面づくりを目指しています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方にオリジナルのボールペンまたは付箋紙を進呈します。

●あて先:〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 兵庫教育大学 大学広報室 ☎0795-44-2431 ☎0795-44-2009 ☒ office-koho@hyogo-u.ac.jp

October, 2014 vol.36

## 教育子午線

Kyoiku-Shigosen

第36号 2014年10月発行  
発行/国立大学法人 兵庫教育大学 大学広報室  
http://www.hyogo-u.ac.jp  
編集協力/関西新聞総合印刷

## 兵庫教育大学モバイルサイト



スマートフォン



携帯電話

この印刷物は再生紙を使用しています。

